

行い、19年度から2カ年で改修工事を行う予定である。

協働のまちづくり事業の取り組み状況（公明党）

問 ①事業の取り組み状況は。

②明るいまちづくり協議会との関係や事業運営についてはどうなるか。

③提案型事業の継続についてはどうか。



宇治島サニーアイランドクリーン作戦
(市民活動団体などからの提案型事業)

答 ①地域まちづくり推進事業

やキーワードモデル事業は、79学区すべてで地域の特性に応じた事業が展開されている。

②明るいまちづくり学区委員会が学区まちづくり推進委員会に組織

統合されているのは18学区で、今後も、統合が進むと考える。明るいまちづくり協議会は、引き続き市全般にわたる事業を担ってもらいたい。

③提案型事業については、単年度が原則だが、進捗度や成果を見極め継続について検討していく。

◆関連質問

- ・各学区における行政職員の会の参画状況（明政会）
- ・市民の意見・要望への対応は（新政クラブ）

福山港国際コンテナターミナルの整備（水曜会）

問 福山港は、県東部の国際港湾物流の拠点として、また、地場産業の発展に重要な役割を担う港として、後背地の整備や第2パース、アクセス道路などの整備が急務と思うが、考えは。

答 福山港国際コンテナターミナルは、岸壁が1パースのみのため、沖待ちや寄港ローターションの変更が生じるなど支障が開始している。地域経済の国際競争力を高めるため、第2パースの整備促進は喫緊の課題であり、早期整備

に向け、関係機関に一層の働きかけをしている。また、港へのアクセス道路の整備も重要であり、県と連携して取り組んでいく。



17年3月に使用開始した福山港国際コンテナターミナル

芦田川河口堰の開放に向けて（誠友会）

問 芦田川の中国地方1級河川水質フースト1の汚名を返上するために、協働のまちづくり事業で各地域の生活排水の軽減や、河川浄化に取り組む必要があると考える。将来の河口堰開放に向け、代替

水源の確保策の検討は。また、芦田川浄化センターの日量7万トンの下水処理水を工業用水に転用で

きないか、検討してはどうか。

答 河口堰の建設で工業用水が確保できたことにより産業が発展し、今日の福山市があると考えている。芦田川の河川特性から、今後、大規模な水源開発は困難な状況である。下水処理水の工業用水としての使用は、塩分の除去が必要になるため、費用対効果の面から現状では困難である。

◆関連質問

- ・芦田川の水質浄化と河口堰のあり方（市民連合）
- ・芦田川の水質浄化と環境教育（公明党）

入札監視委員会の開催状況と取り組み内容（水曜会）

問 公共工事の入札は、透明性公平・公正性を確保し、適正な価格が、そして、その工事の完成品は品質の保証されるものが求められる。適化法を踏まえ入札監視委員会が設置されたが、開催状況と主な取り組みは。

答 入札監視委員会は、入札および契約手続きにおける公正性の確保と透明性、競争性の向上を図るため、15年7月に設置し現在ま

※適化法：公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律